

デザインホテルからギャラリーホテルへ
Artist in Hotel “アーティストルーム” 年内に3室増設
 東京の夕留で「美しき日本」に出会える アートギャラリーホテル

パークホテル東京（夕留メディアタワー内）は、客室丸ごとがアート作品となる「アーティストルーム」を年内に3室増設いたします。それぞれの部屋のアート制作については、書家の秋葉生白さん、美術家の竹之内直記さん、画家の阿部清子さんが腕をふるいます。

アーティストが客室を作品として仕上げることで、客室がホテルのコレクションに生まれ変わります。随所にアーティストのこだわりとおもてなしの心が散りばめられた部屋で、お客様は一発勝負で挑んだ作品と一緒に過ごしいただき、その空気感を感じ取ることができます。今年2月に第1弾「SUMO（作：木村浩之さん）」が登場し、アーティストルームは今回の増設により計4部屋に増えることになります。

まず秋葉さんが6月中旬に、「禅」をテーマに、都会の中でもしじまを感じていただけるような部屋の制作を開始します。その後9月から、モノトーンの木版画を使用したインスタレーションや、ファッション業界などで世界を舞台に活躍している竹之内さんが部屋の制作に着手。竹之内さんは今年の秋に開業10周年を迎える当ホテルの特別展示として個展も開催いたします。そして、海外のお客様からも評価の高い阿部さんは、墨を使用し「龍」をモチーフにした部屋を12月中旬から制作し、今年の最後を飾ります。阿部さんは冬のアトリウムの展示にも再登場し、新作をはじめ大作を出品する予定です。

「アーティストルーム増設」概要

【制作期間】※確定ではありませんので、目安としてください。

秋葉 生白 2013年6月中旬～

竹之内直記 2013年9月～

阿部 清子 2013年12月中旬～

※ 一般のお客様の制作中の見学はご遠慮下さい。メディア関係の方のみとさせていただきます。

▼客室タイプ・広さなどはお問い合わせください。

【販売開始】

秋葉 生白 2013年7月中旬頃～

竹之内直記 2013年11月中旬頃～

阿部 清子 2014年2月初旬頃～

制作の進行状況で決定いたしますので、変更される可能性があります。ご了承ください。詳細はWEBにてご確認ください。

料金：（予定）1室2名利用 40,000円 ※税金・サービス料・宿泊税別

《特典》2泊割引10%・朝食無料サービス付き

※アーティストルーム第1弾は現在販売中です。

【協力】羽黒洞 Hagurodo (<http://www.hagurodo.jp>) 【総合プロデュース】creative unit moon (<http://www.moooon.jp>)



第1弾 木村浩之作
アーティストルーム SUMO

「アーティストルーム」作家プロフィール

秋葉生白（あきば せいはく）1954年東京生まれ 書家

成城大学で西山松之助に江戸文化史芸術論を学ぶ。古美術、現代美術など長年の研鑽と美意識を基礎に、紙だけではなく木に直接書を書き文字を彫り込むなど、「祈り」をテーマに独自の新しい書を表現し発表している。

竹之内直記（たけのうち なおき）1946年鹿児島生まれ 美術家

自作の木版画をベースに、和紙を張り合わせて巨大化させ、空間に合わせて自在に表現を変化させていく。インスタレーションとして、NYではファッションデザイナーとコラボレーション、東京やパリでは人に作品を着せて路上に出没させるなど、ダイナミックさが魅力の作家である。

阿部清子（あべ きよこ）1970年東京生まれ 画家

現代人の心模様をモチーフに、墨を使用した人物画を描く。強さと儚さを持ち合わせた、口数の少ない画家本人の雰囲気直接表現に反映され、不安定さの中にも眼力のある女性像が大変高い評価を受けている。



秋葉生白



竹之内直記



阿部 清子

パークホテル東京は 2003 年 9 月 1 日開業、ドイツ・ベルリンに本社を構える「デザインホテルズ」に東京で初めて加盟しました。画一的なインテリアやサービスを提供するのではなく、こだわりを持った、個性的で創造的なおもてなしを志しております。経済産業省が推進する日本文化を海外に広める「クールジャパン」事業のひとつである「CREATIVE TOKYO 構想」に賛同し、東京を盛り上げるクリエイティブイベントの会場提供などで大きな役割を担っています。また、日本最大のアート見本市、アートフェア東京 2013 のオフィシャルパートナーホテルです。

お部屋の内覧、試泊に関してお気軽にお問い合わせください。ただし、報道関係者限定です。

＜本件に関するお問い合わせ＞

パークホテル東京 マーケティング部 広報：高橋

Email : takahashi@shibaparkhotel.com 〒105-7227 東京都港区東新橋 1-7-1 汐留メディアタワー

※ 不在や電話中のこともありますので、Eメールでご連絡いただくと助かります。

TEL:03-6252-1111(代) / 03-5470-7513(直) FAX : 03-6252-1001
